

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	箕面市家庭教育支援チーム (呼称: 親まなび♥でこぼこひよろりん)
活動開始年度	平成 17 年度(2005 年度)
活動拠点	箕面市らいとぴあ21 ひゅーまん
活動範囲	箕面市、豊能町など 主に北摂地域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (団体、個人から講座依頼を受ける)
組織体制	<u> 5 </u> 人 子育てサポーター5人 うち元教員1人、DV 被害者支援(NPO メンバー)2人(2人とも家庭訪問支援員としても活動)、SSW(社会福祉士)1 人 、元ガールスカウト指導員1人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 親学習教材を用いた講座でざっくばらんに子育て家庭の親、子どもへの関わりを語る講座を展開。 これまで、地域の生涯学習センター、男女協働参画課、公民館に企画提案、講師、進行を担当。教育委員会の依頼により人権啓発講座「いきいきさわやかに学ぶ会」の一部企画、進行を担当。 【活動内容】 ・小学校・中学校の PTA 行事、教育懇談会の企画に講座の進行役として呼ばれる。 ・「アレルギーの子どもを持つ親の集まり」の企画に講師として呼ばれる。 ・ニーズや時代に合わせた教材新作の創造、研修。
活動の成果	・講座参加者からのアンケート内容から 「日頃は親同士の本音を出せずにいるがここでは安心して吐き出すことが出来た」「子育てが終わった年代の親の話が参考になった」「子育てに悩むのは自分だけでないと知りほっとした」「今の自分でもいいのだと思えた」「自分の話を受けとめてもらえてうれしかった。子どもに優しくなれそうだ」など参加して良かったという感想を頂いている。

活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の現役子育て中の当事者の方々と直接出会う場が少なくなっている。 ・子どもを保育園に預けまたは、幼稚園の延長保育を利用して就労する子育て世代の親が増えた結果、平日の講座受講がしにくい。日頃忙しい分、土日は休養・家事に充てたいところ、それより講座受講を優先する余裕のある方はそう多くない。 ・メンバーそれぞれの活動や介護問題等の必要性が出てきて、活動に充てる時間の制約がある。 ・広報に割く時間の余裕がない現状がある。
問合せ先	<p>(部署・氏名等) 親まなび〃でこぼこひよろりん 大栗万智子(おおくりまちこ)</p> <p>(TEL) 090-6981-3543</p> <p>(E-mail) machiko_okuri@hotmail.com</p>